

安心と希望が持てるまちづくり

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年、市政にお寄せいただきましてご支援に対し厚くお礼申し上げますとともに、市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は国内政治の不安定から、脱原発を含むエネルギー政策、領有権問題で緊迫する近隣諸国との安全保障、TPPなど貿易通商政策等々、多くの課題が積み残され、また、国内経済は地方も含め停滞が長期化しております。

当市においても、地域経済の要である農業を取り巻く環境は、従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、年々厳しさを増している状況にあります。

農家経営の安定と競争力強化のため、農産物のブランド化を推進し、新たな販路の開拓に努めて参りましたが、今年はこのこれまでの取り組みにつ

いて見直しを図りながら、消費者へ浸透したブランドとして更なる推進と継続に取り組んで参ります。

また、地産地消の拠点施設として、昨年からは柏地区に建設しております「農産物直売所」が今年7月にオープンするほか、車力地区に、農産物の品質低下を抑制し、長期間の保存により、計画的かつ安定的に集出荷できる「集出荷氷温貯蔵施設」の建設を進めております。

定住促進の取り組みでは、木造地区にある桜木団地の大規模な建て替え事業がスタートしており、いよいよ今年は、住宅建設の段階へと移行します。平成32年度までの8年間で225戸の住宅を整備するもので、魅力ある住環境を提供することができると考えております。

健康づくりの推進では、市民の誰もが健康で暮らせるよう「集団及び個別のがん検診」

の無料化をはじめ、中学生までの医療費を全額助成する「こども医療費全額助成」や「胃がん撲滅検診事業」など、市独自の支援事業を展開して参りました。

今後とも、健康・福祉政策の充実に取り組みながら、検診に対する市民意識の改革や予防の必要性など啓蒙活動を強化することで受診率向上に努めて参ります。

このほか、成人病センターに代わる「つがる市民診療所」の新築など、本市の未来を見据えた事業が進みつつありますが、引き続き、市民の皆様が安心と希望が持てるまちづくりに全力を挙げて取り組んで参りますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新春の門出にあたりまして、市民皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

年頭あいさつ 2013年

つがる市長

福島 弘芳

Fukushima Hiroyoshi



不断の努力で信頼と負託に応える

新年明けましておめでとう
ございます。

市民の皆様には、お健やかに初春を迎えられたことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃から市議会に對しまして、あたたかいご理解とご協力を賜り、厚く感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年、本市の基幹産業である農業においては、春の雪解けの遅れや夏の猛暑、収穫期の多雨などにより、農作物によっては一部影響があったものの、台風など大きな災害もなく、ほぼ順調に推移したことから安堵いたしました。しかし、足元をみると景気は依然として上向かず、とりわけ地方にとっては閉塞感が漂うものとなっております。

こうした中、昨年暮れに行われた衆議院総選挙の結果を踏まえ、国においては、新政

権発足における施策の動向が注視されております。

とりわけ本市に影響が大きいと思われる、環太平洋戦略的経済連携協定問題（平成22年12月、つがる市議会においてTPP参加交渉反対の決議をし、政府に対して要請済み）や原子力発電を含むエネルギー活用のあり方、税負担と福祉の問題など課題が山積した新政権の船出であり、加えて、地方の自主性や自立性を高めるための改革がこれまでに以上に求められております。

市議会といたしましては、昨年9月定例議会において、議会改革検討特別委員会を組織しました。これは、議会の役割である行政の監視・評価機能や議会の政策立案機能をより発揮できるよう、また、情報公開、住民参加の一層の推進を図るなど議員の意識改革、議会活性化を推進すると

ともに、本市の課題解決に取り組むためのもので、関係基本条例や議員政治倫理条例の制定に向け、現在、鋭意検討を重ねております。

今後、地域主権改革が一層進展する中、私も議員は、市民目線に徹し不断の努力と研鑽を重ね、市民の信頼と負託に応える議会を目指して全力で取り組んで行く決意でございます。

新春に臨み、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年も皆様にとりまして、明るく希望に満ちた年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

迎春

つがる市議会議員

山本 清秋

Yamamoto Kiyooki

